

『ロシア宇宙主義：三部作』

アントン・ヴィドクル

2017年11月25日(土)～12月24日(日)

*木・土・日のみ開廊 木・土：16:00 - 22:00 日：12:00 - 19:00

(近隣工事のため開廊時間が変則的です。ご注意ください。)

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団(アーツカウンシル東京) 企画：アサクサ

アサクサは、ニューヨークとベルリン在住のアーティストで e-flux 創始者として知られる アントン・ヴィドクルの個展『ロシア宇宙主義：三部作』を開催いたします。ヴィドクルはこれまで、自身の映像作品をはじめリム・ギリックやフー・ファンとのコラボレーション作品で知られるほか、アート界の教育・経済インフラに介入する複合的なプロジェクトを展開してきました。ベルリンのスーパー裏地にボリス・グロイスやマーサ・ロスラーらを迎えて行われた仮設アートカレッジ《ユナイテッドネイションズプラザ》(2006-7年)、アート関係者の時間とスキルを交換し、貨幣を代替するシステムの構築《タイムバンク》(2010年～、e-flux)や、哲学者、人類学者、理論家を巻き込んだ学際的プラットフォーム《eflux ジャーナル》(2008年～、e-flux)を開始するなど、アート・コミュニティの自律性(オートノミー)を支持し、これを積極的に形成する多数のプロジェクトを実現してきました。

本年発表した新作を含む本展は、哲学者ニコライ・フョードロフが中心となり、政治、文化から宇宙開発者まで、ロシア知識人に多大な影響を与えたロシア宇宙主義をもとにしています。イタリア未来派が台頭した20世紀はじめ、フョードロフは死は「誤り」であるといい、科学技術の進化と自然の制御によって人間の死の克服と肉体の復活を、あらゆる学問の「共同事業」とするように唱えました。宇宙線やエネルギー粒子による影響や、人類を宇宙に紐付いた存在として捉え直すフョードロフの思想は、啓蒙主義、ロシア正教会、東洋哲学における宇宙観、そしてマルクス主義の唯物史観と結びつき、ロシアの知識エリートの大きな支持を得ます。

本展にて上映する三部作では、ロシア宇宙主義の影響のもとに書かれた哲学的断章、科学論文、文学詩など、広範な資料から構成され、テキストの朗読によりシーンが展開します。個人的な父祖の追憶から人類の使命を導き、ロシア宇宙主義の思想を伝える第1部《これが宇宙である》(2014年)、政治運動や革命の起こりを太陽の活動期との関係から調査した第2部《共産主義革命は太陽が原因だった》(2015年)、コスミズムの中心的考えである「復活」の場として、博物館を取り上げた第3部《全人類に不死と復活を!》(2017年)からなり、20世紀のロシア宇宙主義の影響と今日への関連性を示唆しています。

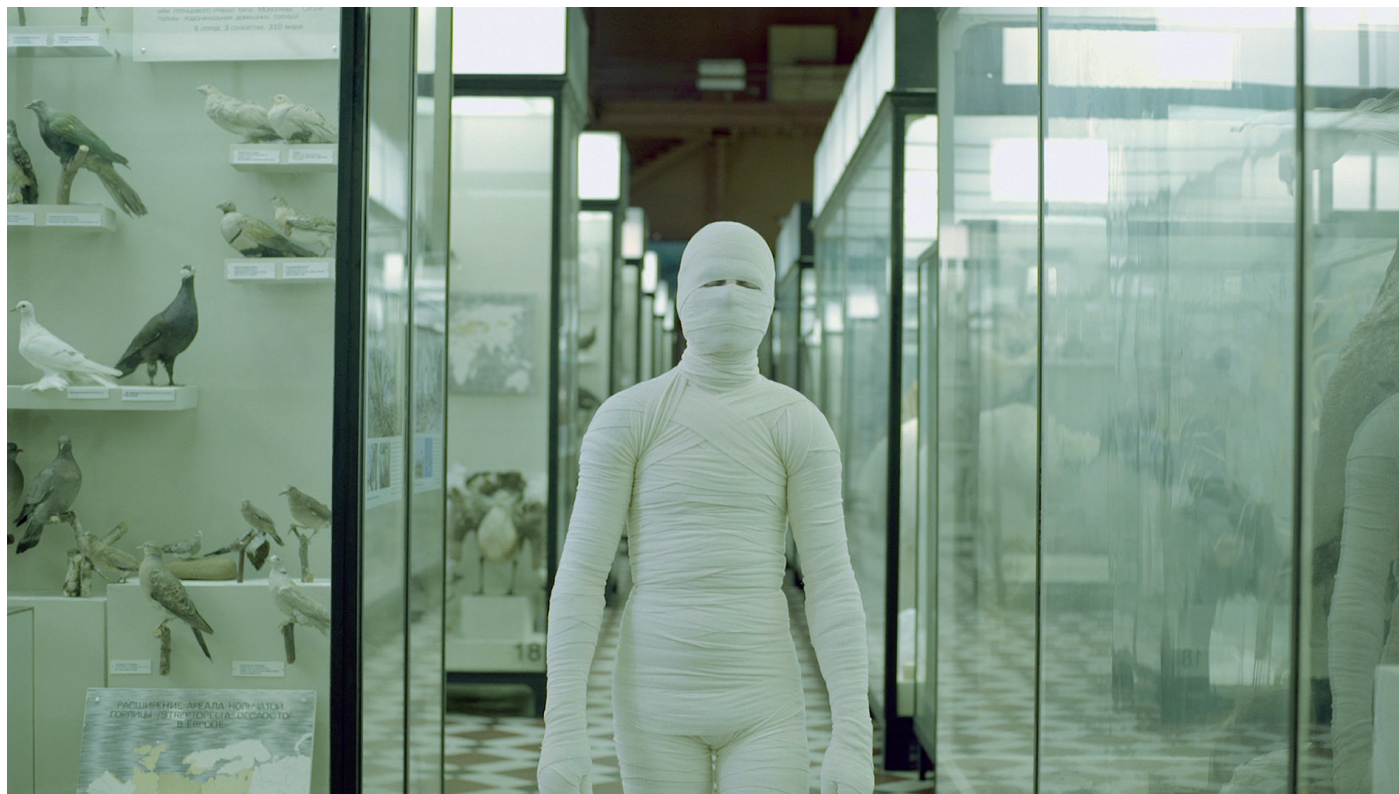
ボルシェビキ党内の多くの議員は、フョードロフに強い影響を受けていたと言われています。第一回ソヴィエト議会では、「宇宙不滅(コスモス・イモータリスト)の党」が議席を獲得し、惑星間旅行の自由と不死の権利についての議決にさえ成功しました。ロケット開発の父ツィオルコフスキーも同様にコスミストであり、ロシアにおける宇宙開発を技術的にも観念的にも支えました。ロシア構成主義者、ロトチェンコ、トルストイやドストエフスキー、詩人ブリューソフ、映画監督タルコスフスキーなど、芸術界における影響は計り知れず、新しい科学技術を用い、人間の身体と認知能力を進化させる不死思想は、ポストヒューマニズムの礎ともなっています。本展は、政治変革、テクノロジー開発、スピリチュアリズムを束ねた合一点となったロシア宇宙主義を取り上げ、テクノロジーと思想、そして人間の不死を目指し未来の倫理を問ひかる肉体のプロジェクトとして考察します。

本展に合わせて、12月17日にアーティストの来日座談会を行うほか、アントン・ヴィドクルとアーティスト ヒト・シュタイヤルとの対談をまとめた小冊子を会場にて販売いたします。

『アントン・ヴィドクル：ロシア宇宙主義 三部作』は、公益財団法人東京都歴史文化財団(アーツカウンシル東京)の助成を受け、都内で行ったリサーチをもとに実現しました。

募集

アントン・ヴィドクルの来日制作を支援する本プロジェクトでは、2018年2月の撮影でご協力いただけるエキストラ、スタッフを募集しています。ご検討いただける方は、info@asakusa-o.com までご連絡ください。



アントン・ヴィドクル《全人類に不死と復活を!》(2017年)

来日記念座談会 開催のお知らせ

東京を舞台にした新作フィルム「コスモ(仮)」に向けて



アントン・ヴィドクル氏

アントン・ヴィドクルは、ロシア宇宙主義者のひとり A. スヴァトゴールの宣言文(1922年)に基づき、新作映像を制作中です。本作は、撮影の舞台を東京に移し、バイオコスミズム(生宇宙論)と世界初の電子楽器として発明されたテレミンを用いたミュージカルとなります。会期中に来日し、自らの作品と新規制作に向けた情報交換会を開催いたします。

記

日時: 2017年12月17日(日) 17:30 - 19:00

場所: 浅草公会堂 第二会議室(4階)

〒111-0032 東京都台東区浅草1-38-6

助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団(アーツカウンシル東京)

定員: 40名 *日英通訳あり

参加いただける方は info@asakusa-o.com まで、お名前、ご連絡先をメールください。追って当日の詳細なご案内をお送りいたします。また、来年2月の撮影にご協力いただけるエキストラ、アシスタントを合わせて募集いたします。ご興味のあるかたはぜひご連絡ください。

アーティスト:

アントン・ヴィドクル(Anton Vidokle: 1965年モスクワ生まれ)は、ニューヨークとベルリンに拠点を置く。映像作家としても知られる傍ら、アーティスト・コミュニティの自律性(オートノミー)を支持し、それを積極的に形成する数々のコラボレーションプロジェクトを行う。近年の主な展覧会に2015年「Field Research: A Progress Report」(ガレージ現代美術館、モスクワ)他。テート・モダン(ロンドン)、パリ市近代美術館、MoMA PS1 (ニューヨーク)をはじめとした各国の主要美術館での展覧会多数。ドクメンタ(ドイツ)、ヴェニス・ビエンナーレ、光州ビエンナーレ(韓国)、イスタンブール・ビエンナーレ(トルコ)、リヨン・ビエンナーレ(フランス)、オカヤマ・アート・サミット(岡山)など、数多くの国際展にも参加。アーティスト、キュレーターでありながら様々なプロジェクトにかかわり、幅広く活動している。

＊

2004年、アントン・ヴィドクルは、ジュリエッタ・アランダとともにe-fluxビデオレンタルを開設。「次期ドクメンタはアーティストがキュレーションするべきだ」(キュレーター:ジェンス・ホフマン)、「Do It」(ハンス・ウルリッヒ・オブリスト)、「マーサ・ロスラー・ライブラリー」などを企画、実現する。2005年、マニフェスタ6の共同キュレーターとして計画を開始するも、キャンセルとなる。対抗措置としてベルリンに独立プロジェクト ユナイテッドネイションズプラザ(2006-7年)を立ち上げ、100人以上のアーティスト、ライター、哲学者とオーディエンスを巻き込んだ12ヶ月に及ぶセミナー、講演、上映会、パフォーマンスなどの総合プロジェクトを行う。本企画は以後《ナイトスクール》として、メキシコシティ(PAC)およびニューヨーク(ニューミュージアム)に巡回した(2008-2009年)。

2008年、ヴィドクルはブライアン・クアン・ウッドとジュリエッタ・アランダとともに月刊オンラインジャーナル **e-flux Journal** を創刊。ヒト・シュタイヤル、マーサ・ロスラー、リアム・ギリック、ボリス・グロイス、フランコ・ベラルディ、スラヴォイ・ジジック、ラックス・メディア・コレクティヴらが寄稿をはじめ、幅広い読者層を獲得。多国語に翻訳されるほか、寄稿されたエッセイや論考は、スタインベルグ(ベルリン)より編纂、出版されている。また、2015年より **e-flux Classics** シリーズ(ミネソタ大学出版)を開始。ヴィドクルは、**e-flux** プロジェクトスペース(ニューヨーク)において、プログラムディレクションも務める。第56回ヴェニス・ビエンナーレでは、SUPERCOMMUNITYとして人類学者、アーティスト、哲学者、詩人、理論家などを e-flux の寄稿者、読者を中心にコミュニティ形成を行った。www.e-flux.com

＊

本展に展示される三部作は、「Art Withou Death: Russian Cosmism」(2017年9月)として、ベルリンHKW(世界文化の家)で展覧会が開催され、ボリス・グロイス、ヒト・シュタイヤル、アンゼルム・フランケ(司会)とのトークが催されたほか、ロンドンテートモダンでも上映会とパネルトーク(2017年10月)が行われた。音響担当はカールステン・ニコライ。

助成:

公益財団法人東京都歴史文化財団
(アーツカウンシル東京)
プロジェクト名「アントン・ヴィドクル来日制作」

後援:

たいとう文化発信プログラム

キュレーター:

アサクサは、ギャラリーキュレーターが運営する、40平方メートルの一般住宅を改築したプロジェクト・スペース。美術研究と市場の動向を媒介し、共同キュレーションを推進する。トマス・ヒルシュホルン、サンティエゴ・シエラ、リクリット・ティラバーニャ、オノ・ヨーコ、ヨシユア・オコンほか、多数のアーティストと協働。本展は、第12回目の展覧会となる。

展覧会情報:

タイトル:『ロシア宇宙主義:三部作』
英題:"Russian Cosmism: Trilogy"
会期:2017年11月25日(土)~12月24日(日)
*木・土・日のみ開廊
木・土: 16:00 - 22:00 日:12:00 - 19:00
(近隣工事のため開廊時間が変則的です。ご注意ください)

会場:アサクサ
住所:東京都台東区西浅草1-6-16

イベント情報:

タイトル:アントン・ヴィドクル来日記念座談会
会期:2017年12月17日(日) 17:30 - 19:00

会場:浅草公会堂 第二会議室(4階)
住所:東京都台東区西浅草1-38-6
連絡先: info@asakusa-o.com

URL: www.asakusa-o.com
Facebook: <https://www.facebook.com/asakusa.o/>
Twitter: @asakusa_o, #asakusa-o
Instagram: asakusa.o

プレス連絡先: 大坂紘一郎・三上真理子
info@asakusa-o.com
090-8346-3232 (大坂)

